




## 第4章 施策評価の結果

### 1 結果の概要

江南市では、江南市戦略計画の進行管理を行うため、行政評価を行っています。平成28年度は、地域で目指す目標を実現するため、市役所が行う大きな行政活動単位である施策の評価と、個々の事務事業について、達成状況や効率性などについて評価する事務事業評価を行いました。

実施対象施策・事業数  
 ・施策 77施策  
 ・事務事業 649事業

#### (1) 分野ごとの成果の達成状況

	施策数	設定した 成果 指標数	成果の達成状況の評価			
						-
I 生活環境、産業分野	18	54	29	7	4	14
II 健康、福祉分野	20	49	29	10	4	6
III 都市生活基盤分野	15	29	21	2	4	2
IV 教育分野	12	36	16	11	5	4
V 経営、企画分野	12	29	13	6	5	5
合計	77	197	108	36	22	31

☀ : 90%以上達成した ☁ : 70%以上達成した ↑ : 達成していない - : 達成状況の評価が困難

#### (2) 事務事業の評価結果

##### <達成度>

「活動量」、「サービス量」に対する活動指標を達成しているかの観点から総合的に判断し、達成度をA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 大幅に達成している (目標を上回る成果があがっている)	119
B 達成している (概ね目標どおり達成している)	521
C 達成していない (目標を下回る成果しかあがっていない)	9

##### <効率性>

現在の事業手法の他に理想的な事業手法があるか、業務の進め方を簡略化する余地があるか、人件費を圧縮する余地はあるか、などの観点から総合的に判断し、効率性の高さをA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 高い(改善の余地はほとんどない)	621
B どちらともいえない(改善の余地は少ない)	28
C 低い(改善の余地は大きい)	0

##### <有効性>

成果は得られているか、サービス水準は適切か、などの観点から総合的に判断し、有効性の高さをA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 高い(非常に有効である)	595
B どちらともいえない(ある程度有効である)	51
C 低い(有効でない)	3

##### <事業展開の方向性>

今後どのように展開していくべきかについて、「継続」、「休止」、「廃止・中止」、「完了」の4つの方向性で判断しました。

評価	事務事業数
継続	628
休止	3
廃止・中止	1
完了	17

## 2 シートの見方

江南市戦略計画に基づく成果体系における分野名・柱名を記載しています。

施策の名称・担当部・課名を記載しています。

施策評価(平成28年度実施施策)の結果  
 【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】  
 【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

施策名	適切な開発許可と建築指導及び、木造住宅耐震化の促進	担当部・課	都市整備部 建築課
-----	---------------------------	-------	--------------

1 施策概要

目指す目的・成果	建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている
----------	--

2 投入コスト (単位:千)

事業費	減価償却費	公債費	人件費	計
28,929	782	58	23,443	53,212

達成率の計算方法  
 【目標値が上昇していく指標】  
 実績値÷目標値×100%  
 【目標値が減少していく指標】  
 目標値÷実績値×100%  
 ※ 目標値が矢印(↑・↓)の指標は、基準値で算出しています。

3 成果の状況

指標名 (*は基本計画掲載指標)	単位	基準値	目標値	実績値	達成状況(達成率)
開発許可と建築許可に対する指導件数 *	件	265 (H18)	260	271	☀️ (95.9%)
確認割合 *	%	84.4 (H18)	96.0	99.1	☀️ (103.2%)
断実施済棟数 *	棟	798 (H18)	3,750	2,580	⬆️ (68.8%)

☀️ : 90%以上達成した  
 ☁️ : 70%以上達成した  
 ⬆️ : 達成していない

4 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性			今後の施策展開の方針・改善内容など	重点化	改革改善
	事業費	人員	地域資源			
→	→	↑	→	開発許可や建築許可については、法令・許可基準に照らし合わせ適切に指導していく。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、江南市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき事務を遂行していく。 民間での建築確認件数の割合は、近年はほぼ横ばいとなっているが、建築基準法に規定する限定特定行政庁として、法令に基づき、民間組織への適正な指導を引き続き行っていく。 耐震診断の診断実施済棟数については、従来から行っている情報提供、啓発、普及活動に加えて、空家等対策(空家等対策推進法)に基づき、空家等対策の推進を図っていく。	★	

評価実施年度(平成29年度)から次年度(平成30年度)に向けての成果と投入資源の方向性を矢印で表しています。  
 【成果の方向性】  
 施策の成果を増大させる ↑  
 施策の成果を現状維持する →  
 施策の成果を縮小する ↓  
 【投入資源の方向性】  
 投入資源を増大させる ↑  
 投入資源を現状維持する →  
 投入資源を縮小する ↓

今後、重点化する施策・改革改善が必要な施策には、★マークを表示しています。

施策の投入コストをフルコスト(事業費、減価償却費、公債費、人件費)で記載しています。

成果の状況について平成28年度の目標値・実績値・達成状況・達成率を記載しています。

施策の方針について成果の方向性・投入資源の方向性・施策展開の方針等を記載しています。

全ての事務事業の  
投入コスト  
評価結果  
今後の方向性  
を記載しています。

平成29年度から平成  
30年度に向けた方向  
性を示しています。

### 5 施策の実現手段となる事務事業の分析結果

事務事業	主要施策	投入コスト(千円)					評価結果				今後の方向性					
		事業費	減価償却費	公債費	人件費	計	市関与必要性	ニーズ	達成度	効率性	有効性	方向性	成果	投入資源	重点化	改革改善
1	建築確認審査等事業	2,431	129	0	3,674	6,234	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
2	建築確認等受付事業	0	20	0	560	580	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
3	道路位置指定事業	0	20	0	560	580	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
4	建築審議会事業	0	20	0	560	580	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
5	建設リサイクル審査事業	0	20	0	560	580	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
6	民間木造住宅耐震診断事業	■ 2,765	40	5	1,136	3,946	有り	→	C	A	A	継続	→	→		
7	民間木造住宅耐震補強事業	■ 15,900	49	27	1,399	17,375	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
		0	20	0	560	590	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
		91	336	0	10,179	10,606	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
		0	59	0	1,952	2,011	有り	→	B	A	A	継続	→	→		
11	空家等対策推進事業	■ 7,732	69	26	2,303	10,130	有り	↑	B	A	A	継続	→	↑	●	

■マークが付いている  
事務事業は別ページ  
に詳細を掲載しています。

#### 投入コストについて

減価償却費	江南市が所有する建物等の償却資産を、定額法に基づき減価償却し、各事業ごとの人工により按分して算出しています。
公債費	市が借り入れた地方債の償還利子のうち、特定地方債についてはその目的に対応した事務事業に割り振り、特定目的でない地方債については各事務事業の一般財源の額を基準として全ての事務事業に振り分けて算出しています。
人件費	各事務事業にかかる「人工」に職員の平均給与と退職給与引当金繰入を乗じて算出しています。

#### 評価結果について

ニーズ	↑:増大 →:現状維持 ↓:縮小
達成度 (事業の活動量やサービス量 の実施状況から判定)	A:大幅に達成している(目標を上回る成果があがっている) B:達成している(概ね目標どおり達成している) C:達成していない(目標を下回る成果しかあがっていない)
効率性	A:高い(改善の余地はほとんどない) B:普通(改善の余地は少ない) C:低い(改善の余地は大きい)

#### 今後の方向性について

有効性(施策への貢献度)	A:非常に有効 B:ある程度有効 C:有効でない
方向性(今後の事業展開)	継続 休止 廃止・中止 完了
成果	↑:増大 →:現状維持 ↓:縮小
投入資源	↑:増大 →:現状維持 ↓:縮小
重点化	●:重点化する
改革改善	●:改革改善する

事務事業の  
事業名称  
担当課・グループ  
会計・款項目(執行科目)  
戦略プロジェクト事業の該当  
を記載しています。

会計・款項目は、  
一般会計・特別会計の略称、款項目  
を記載しています。  
  
<略称一覧>  
一般：一般会計  
国保：江南市国民健康保険特別会計  
横田：江南市横田教育文化事業特別会計  
下水：江南市公共下水道事業特別会計  
区画：尾張都市計画事業江南布袋南部  
土地区画整理事業特別会計  
介護：江南市介護保険特別会計  
後期：江南市後期高齢者医療特別会計

江南市戦略計画に基づく成果体系  
における  
分野名  
施策名を記載しています。

担当課・グループは、現在の  
名称を記載しています。

— V 経営、企画分野 —  
地域情報の共有化

事務事業名	シティプロモーション事業	担当課 グループ	地方創生推進課 地域の魅力発信
会計・款項目	一般02-01-01	戦略 プロジェクト	◎

1 事業概要

めざす目的成果	市の知名度の向上や市民の郷土愛の育成が図られ、定住人口、交流人口が増加している。
事業内容	市民協働による調査・研究を基に「江南市シティプロモーションビジョン」を策定する。同時に市のPR用映像等を作成し、それらを利用して地域の魅力を発信する。

2 実施内容

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標である「住みたいまち“江南”づくり」を推進し、シティプロモーションビジョン「暮らしが花ひらく生活都市。江南市」に基づき、ポスター及びPR動画を制作し、名古屋駅等に大型看板を掲示したり、テレビコマーシャルで映像放送したりするなど江南市の魅力をPRした。



戦略プロジェクト  
該当事業は『◎』  
を記載しています。

事務事業の  
平成28年度の  
事業実績  
を記載しています。

事業  
実績

決算額及び決算額の内訳は、  
事務事業に係る一般会計と特別会計  
相互間における繰入金、繰出金による  
重複額を差し引きしています。

予算額は、  
平成28年度現年度予算額に  
平成27年度からの繰越予算額を加え  
平成29年度への繰越予算額を控除  
しています。

執行率は、  
他の事務事業から予算流用して  
執行すると100.0%を超える場合が  
あります。

決算 状況	事業費(千円)	予算額	決算額			執行率
		19,450	19,450			100.0%
	決算額の内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	19,450					
単位 当 た り の 事 業 費 (円)	市民の数	単位			単位当たりの決算額	うち一般財源
		100,915 人			193	
活動 指 標	指標名	説明	単位	実績値	目標値	
	江南市シティプロモーションビジョンの策定	市の将来に渡るシティプロモーション方法を掲載	件	1	1	

3 今後の方向性

課題	江南市の知名度及び認知度を高める必要が
対応方策	江南市の魅力(素材、強み)に光をあてなが いう都市ブランドを各方面に発信し続けるこ ていく。

事務事業ごとに設定した  
活動指標の  
実績値  
目標値  
を記載しています。

単位当たりの事業費は、  
決算状況をわかりやすくするため、事業に  
即した単位を設定し、単位当たりの事業  
費を記載しています。  
全事業共通単位として、「市民1人当たり」  
を設定し、人口の基準は、平成29年3月末  
の人口(100,915人)を用いています。

